

「防災について」の研修後アンケートで、講師の先生方に質問を受け付けましたところ、下記の2つの質問がありました。丁寧にご回答いただきましたので、掲載させていただきます。

**【参加者からの質問】①**

災害用ガスバルブについて、MAX 1月、半分で2週間と説明していただきましたが、1回どれくらい使用したと想定しての計算か教えてください。

**【回答】**

新見医師会立 介護老人保健施設くろかみ 総務科長 山下裕実様より

くろかみ災害対応ガスバルク自家発電出力所見					
LPガス貯蔵能力980kg					
1日に使用する想定ガス使用量					
品名	使用量 (kg/h)	1日あたりの使用時間 (h)	台数	ガス消費量 (kg/h)	備考
ガスコンロ	1.3	3	2	7.8	煮炊き用寸胴（直径54cm以内）
ガス発電機	0.5	24	1	12	吸引器、ナースコール、非常照明、医療用冷蔵庫
ガス給湯器	2.1	1.5	4	12.6	1F浴場
合計使用量				32.4	
使用可能日数：980kg ÷ 32.4kg = 30.2日					
満タンで30日、半分で15日の計算					

**【参加者からの質問】②**

市内には多くの限界集落があり、若い人はほとんどおらず、その人たちの避難は誰が手助けしてあげられるのでしょうか？もちろん早めの避難が必要ですが。

**【回答】**

新見市 福祉部 福祉課 危機管理室 主査 長田友昭様より

その集落のみで考えると、若い人が少なくなっているところもありますが、地域（大字単位）まで広げると、まだまだ多くの若い人が存在します。その方達の力を借りるのに有効な組織が、「自主防災組織」であると考えております。

自主防災組織では、会員のみなさんは防災という名の下、非常に好意的・協力的に活動されております。有事の際には、こういった方の力を借りることで避難することも可能と思われれます。

そこで、今年度から取り組む「個別避難計画」を是非こういった方に協力していただき作成することで、自主防災組織・地元住民などの方から手助けしていただけるようになるのではないかと考えております。